

## 第4回 鹿島港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画作成ワーキンググループ

### 議事概要

#### 会議概要

日時：令和4年2月21日(月) 15:00~16:00

開催形式：Web 会議

#### 議事内容

○事務局から令和3年12月24日港湾局公表の「カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画作成マニュアル(初版)」を踏まえた茨城港CNP形成計画(案)を提示し、構成員から了承を得た。

#### ○各企業におけるご意見等

- ・CNP形成に向けて2030年及び2050年の目標が数値化され、目標が明確になった。また、CNP-WG構成員で目標を共有できたことが成果。
- ・CO2削減について直接的な貢献は難しいが、グリーン電力や再エネを活用するなど間接的に貢献していきたい。
- ・CNは避けて通れない課題である一方で、企業として競争力の維持が必要。官民連携して取り組んでいくため支援をお願いしたい。
- ・CO2削減とともに企業活動としてコストを考える必要がある。行政や関連企業と共にコストも重視して検討したい。
- ・国内のみならず国際的な競争力の確保が必要。企業存続にコストは不可欠なため引き続き支援をお願いしたい。
- ・鹿島港は水素・アンモニア等の燃料転換のポテンシャルが非常に高い。
- ・CN化の促進は企業及びコンビナート全体の存続にも関わってくる問題と認識している。
- ・輸入に頼らざるを得ないエネルギーのセキュリティ確保、追加コストの最小化が重要。
- ・燃料アンモニアの世界初の大規模商用化に向けて取り組みを開始。サプライチェーン構築、面的な拡大に向けてCNP関係者にご協力いただきたい。
- ・CO2の貯留・輸送に加え、水素を活用した製鉄法の技術開発が必要。
- ・鹿島港コンビナートの大型定期修理の有無によるCO2排出量の変動も考慮が必要か。
- ・CNの取り組みにより茨城県や東部コンビナートが魅力的となるよう、次世代に繋がるような取り組みをしたい。
- ・鹿嶋市が主体となっている洋上風力発電の事業推進に参画しており、外港公共ふ頭における港湾荷役業務、輸送業務等で貢献したい。
- ・茨城県以外の洋上風力事業との連携も重要。
- ・洋上風力関連産業の企業立地促進については方向性として適切。
- ・港湾利用者(船社、運送事業者等)にも別途ヒアリングを行い、CNに向けた取組をCNP-WG構成員に情報提供した。

以上